

守山市では、市内の事業所の皆さまにごみの減量化のご参考としていただくため、ごみの減量化に積極的に取り組んでいる事業所の事例紹介を行い、事業所からのごみの排出量の減量化を図っています。第3回目となる今回は、たねや守山玻璃絵館の取り組みをご案内します。

たねや守山玻璃絵館

事業所概要

事業所名	たねやグループ 守山玻璃絵館
所在地	守山市吉身3丁目 19-15
従業員数	110人
主な事業内容	和洋菓子販売、洋菓子製造、飲食業

ごみ減量化に向けた取り組み

たねやグループ守山玻璃絵館では、廃棄物を減らす、分別を徹底する、社会的価値の高いリサイクルを実践する方針のもと、たねやグループ全社一丸となり様々な取り組みを実践されています。

1 生ごみは堆肥化や飼料化として有効活用

収集業者および処分業者と連携し食品リサイクルシステムを構築され、卵の殻は堆肥化、菓子類の残渣は液体飼料として畜産に有効活用されています。



卵の殻⇒堆肥化



菓子類の残渣⇒液体肥料化

2 フードバンクへの提供による食品ロスの削減

包装ずれなどで可食ながらも廃棄されていた食品をフードバンク滋賀に提供し、食品ロス削減や社会福祉活動に積極的に取り組んでおられます。



可食食品⇒フードバンクに提供



3 牛乳パックは有価物として再資源化

洋菓子製造に使用された牛乳パックは洗浄後コンパクトに折りたたんで、他店舗品と一緒に愛知川製造本部に送付され有価物としてマテリアルリサイクルされています。



牛乳パック⇒マテリアルリサイクル

取組みの効果

- 一般廃棄物および産業廃棄物の削減
- フードバンクへの食品提供による食品ロス削減及び社会福祉貢献
- 有価資源物売却による経費削減

事業所からのメッセージ

たねやグループ玻璃絵館からのメッセージ

たねやグループでは「自然に学ぶ」をテーマにSGDsに取り組んでいます。「つくる責任・つかう責任」の一環として、廃棄物削減やリサイクルに積極的に取り組んでいます。また、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「食品リサイクル法」「飼料安全法」をはじめとする関係関連法規、自治体の条例を遵守しています。

守山市の新環境センター稼働に伴い廃棄物分別表を掲示し周知徹底を図っています。

たねやグループ全社の環境への取り組み事例を紹介いたします。

①手提袋の有料化

資源の消費量削減に向けた取り組みとして、たねやグループ全店で手提袋の無料化配布を終了。

②バームクーヘンの“みみ”の部分を商品化

これまで販売することのなかった、バームクーヘンを丸太からカットする際に出る“みみ”の部分を商品化。

③お菓子の詰め合わせに蓋紙の導入

紙の使用量削減のため、お菓子の詰め合わせに使用していた霊流紙の代わりに蓋紙に変更。

④バームクーヘン mini のトレー紙を紙に変更

プラスチックトレーを紙に変更しプラスチック製と比べCO2 排出量が1/3。

⑤お菓子の葉をデジタル化

お菓子に添えている紙の葉をデジタル化。ウェブサイトでの閲覧を促し、紙の使用量を削減。

⑥カフェのプラカップをグラスに

プラカップを廃止しグラスに変更。ストローをプラスチックから紙ストローに変更。

今後は今までの取り組みだけでなく、サーキュラーエコノミー構築やカーボンニュートラルの実現などもう一步先の取り組みができるように、様々な事にチャレンジしていきます。